

東目屋の歴史と 弘前の文化財

と き：令和3年1月20日
ところ：東目屋公民館
参加者：地区の皆さん15名

東目屋のことを学んで
もっと好きになろう！

東目屋公民館で、弘前文化財保存技術協会代表理事の今井二三夫さんを講師にお迎えして、「東目屋の歴史と弘前の文化財」について学ぶ講座が開催されました。タイトルを聞くのと難しそうですが、今井さんのユーモアたっぷりの語り口に、終始笑いが絶えない講座になりました。

東目屋がかつて南部一族の支配地だったことは受講生の皆さんも知らなかったようで、とても驚いた様子でした。
また、津軽のお正月や節分の文化についてもお話しいただき、「理由はわからないけどやっていたこと」の成り立ちを学ぶことができました。

一代様ってなんだろう？

よく「初詣は一代様にお参りに行く！」と聞きますが、一代様はその参詣所のことではなく、守り本尊のことを言うそうです。例えば子年は千手観音菩薩が守り本尊なので、目屋の多賀神社に限らず、茂森の陽光院なども参詣所になるそうです。



蔵に眠る？お宝を探そう！

家の蔵に
ありそう…



1645年以前の弘前に関する書物は見つかっていないそう。したがって、弘前という名称もどのように決まったのかわからないそうです。

もしかすると、ふすまの下貼り紙として眠っている可能性があるのでは？とのこと…皆さんも探してみてはいかがでしょうか。